

## 令和2年度 すだちの家事業報告

### 1 はじめに

令和2年度は36名でのスタートし、6月に1名ずつの入退所があり、その後9月に1名入所、1月に1名退所となりました。令和3年度の利用者数は4月に支援学校から1名加わり現在37名となり、40名定員まで3名減ではありますが、少しずつ定員に近づいております。

令和2年度は工賃向上計画の最終年で目標に向けて取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響もあり特に前半は学校関係が外部からの入館制限によりパンの売り上げは落ち、内職作業も人流が乏しくなったことで駄弁やお土産類の売り上げに大きく落ち込みました。3年間の実績数値も初年度から比べ最終年度は数値が向上しましたが、2年度から最終年度の収益は落ち込みました。今年度より新たな工賃向上に向けた取り組みが始まりますので、頑張っていきたい。

コロナ対策として個人の防止策に加え、毎週末のお知らせにて家族会の皆様にも感染対策を講じた上で外出や県外渡航の情報提供など呼びかけております。希望となるワクチン接種の時期は未定のため、それまでは感染対策を緩めず取り組んでいきたいと思っております。

### 2 年間利用者数と利用料等の収入

① 就労継続支援B型事業（定員40名） 一日平均32.3名の利用 ※前年度33.2名

訓練等給付費 65,364,711 円 ※昨年度 65,201,012 円

※令和3年度より施設外就労の取り組みは残るも、加算が無くなった。

処遇改善加算 3,398,613 円 ※昨年度 3,390,161 円

② 日中一時支援（地域生活支援事業）

7時間利用で5,000円なので大体39名の利用

年間 197,020 円

③ 相談支援事業（地域生活支援事業）

令和2年度は相談支援なく、0件であった。

### 3 各作業班の反省（P, 3～P, 16参照）

令和2年度就労支援事業収入計 10,979,986 円 ※昨年度 11,542,175 円

### 4 利用者工賃

・ 総額8,146,140円（工賃支払い対象者延べ人数429名）開所日数265日

令和2年度工賃実績額は月額18,989円で報告しています。

（昨年は平均月額19,336円でしたのでマイナス347円となります。）

・ 利用者工賃規定により、毎月、月末日に現金で支給しています。経験年数によって、毎年わずかですが、全員日給（月給）が上がるようにしています。平成30年度からは新たに工賃規定を見直したものを適用しており、評価については支援の一環で行いますが、工賃には反映していません。

## 5 就労外就労・施設外支援・アフターケア

- ・ 施設外就労は施設外の作業を通じ第三者との関わりや買い物等で金銭管理を行うなど、就労意欲の芽生えや社会経験の提供を目的として取り組んでいます。
- ・ 実習意欲がある方には、夕凧会（ケアハウス）で施設内外の環境整備として除草作業や掃除に取り組みました。（1名）昨年度は6月に5日間程実施。
- ・ すだちの家から就職した方やその家族の方と定期的に会い悩み相談等聞く機会を設けるようにしています。（現2名）

## 6 各教室活動

- ① 絵画教室（第三土曜日午前）→作業班単位での活動に変更
- ② 音楽教室（第三土曜日午後）外部講師2名
- ③ トーンチャイム教室（第三土曜日午後）外部講師2名
- ④ 習字教室（第一木曜日午後）
- ⑤ 抹茶教室（第三木曜日午後）
- ⑥ 銭太鼓教室（第四木曜日午後）

## 7 行事

- 5月 家族会総会、運動会→中止
- 5月 障害者スポーツ大会（倉敷サンフラワーボウル、ボウリング競技）→中止
- 6月 ボウリング大会→中止
- 7月 設立20周年記念式典、地域の方との交流会→式典は次年度に延期
- 8月 プール（山南拠点プール）→綿菓子、かき氷作りに代替え
- 10月 秋のレクリエーション→神崎緑地公園にてスタンプラリー実施
- 11月 還暦を祝う会（京林さん）食堂での式典と屋外BBQ
- 12月 家族会忘年会→中止
- 3月 ハイキング→規模縮小で実施

## 8 権利擁護

- ・ 苦情解決制度を利用された件数は0件でした。日常的なやりとりの中で早期対応することが基本だと考えています。
- ・ 第三者委員会を年に1回定期開催しておりましたが、昨年度は書面会議とし第三者の皆様にはメールにてひやりはっと報告や事故報告を行いました。（令和2年1月25日）
- ・ 虐待防止の研修には積極的に参加し、その都度職員に周知するようにしています。また、職員、利用者にアンケートを実施し職員会議で話し合うようにしています。